

日本語の過去表現と中国語の助詞“了”の対応についての考察

白方直美

Abstract

The particle “了” (le), which expresses the completion of an action in the Chinese language, is frequently translated as “～た” (- ta) in Japanese, which serves a similar purpose. For that reason, many learners of Chinese interpret “了” as indicating the past tense. However, the concept of “tense,” and by extension “past tense,” does not exist in the Chinese language to begin with. With that in mind, when translating past expressions in Japanese into Chinese, when should the particle “了” be used and when should that use be avoided? In this paper, using “挪威的森林”(Nuowei de Senlin), the Chinese language translation of Haruki Murakami's novel “ノルウェイの森”(Noruei no Mori/Norwegian Wood) by Lin Shaohua, I verified situations in which past expressions in the Japanese language are translated into Chinese with use of the particle “了.”

Keywords: 過去形 助詞“了” 動作の完了 『ノルウェイの森』 中国語翻訳書

はじめに

中国語の助詞“了”には、動詞の後に付く“了1”と文末に置く“了2”の二種類がある。前者“了1”は動態助詞やアスペクト助詞と呼ばれて「動作の完了」を表し、後者“了2”は語気助詞の一つで「変化」や「新状況の出現」、「肯定の語気」などを表す。例えば“了1”は“中午我吃了很多。(お昼はたくさん食べた。)”、“了2”は“他去中国了。(彼は中国に行った。)”のように、いずれも既に終わった過去の動作を表すことができる。

すでに終わった動作の表現を“了”を使って教える時、初級中国語では①(動詞に目的語がない場合)動詞+“了”、②動詞+“了”+数量表現または修飾語+目的語、③動詞+目的語+“了”の三パターンで教えるのが一般的である。実際の“了”の使用状況はかなり複雑だが、初級学習者が混乱しないように配慮され、多くの教科書でこうした教え方が用いられている¹。

本稿では、村上春樹著の『ノルウェイの森』と、林少華が『ノルウェイの森』を中国語に訳した《挪威的森林》を対照し、すでに終わった動作がどのように中国語に訳されているか、どのように“了”を用いて訳されているかを検証した。

1：中国語翻訳書《挪威的森林》にみられる過去の表現

まずは林少華が中国語に翻訳した《挪威的森林》について、日本語の過去表現が中国語でどのように訳されているかをみた結果、表1に示す通り8パターンあった。

1 相原茂・陳淑梅・飯田敦子(2019)『日中いぶこみ交差点』第13課、第14課
清原文代・井手克子・韓・艶玲・高恵敏(2012)『一步一步学漢語』下冊第1課
杉野元子・黄漢青(2013)『大学生のための初級中国語40回』第19課、第20課など

表 1

《挪威的森林》にみる過去の表現

(形式)	日本語原文	中国語翻訳文
1 動詞+助詞“了”	「どうしてこんなところに来たの？」第二章	“怎么到这儿来了？”
2 動詞+助詞“着”	そんな一對の美しい瞳が長いあいだ僕の中をのぞきこんでいた。第一章	这对如此美丽动人的眸子久久地、定定地 注视着 我。
3 動詞+助詞“过”	ちょうど僕がかつての僕自身が立っていた場所から確実に遠ざかりつつあるように。第一章	正如我逐渐远离自己一度 站过 的位置一样。
4 “是……的”構文	我々は何かの目的があってここに来たわけではなかった。第二章	我们也不是有什么目的才来这里的 的 。
5 動詞単独	やれやれ、またドイツか、と僕は思った。第一章	罢了罢了，又是德国，我 想 。
6 動詞+補語	直子は立ちどまった。僕も立ちどまった。第一章	直子 停住 脚，我也 停住 。
7 “一”+動詞	飛行機が着地を完了すると禁煙のサインが消え、天井のスピーカーから小さな音でBGMが流れはじめた。第一章	飞机 一着陆 ，禁烟显示牌倏然消失，天花板扩音器中低声流出背景音乐，
8 動詞+“罢”	そして食べ終ると「この冬はいいですよ。この次は是非冬にいらっしゃい」と昨日と同じことを言って去っていった。第六章	吃罢饭 ，又重复了一句“这里的冬天不错哟，下次务必冬天里来看看”，这才离去。

2 《挪威的森林》にみられる助詞“了”を用いない過去の表現

2-1 動詞単独で過去事象を表現

中国語は時制の概念がなく、また動詞自体が変化や活用しない²ため、動詞の後ろに助詞を置いたり、動詞の前に副詞を置くことにより、動作の様々な様相を表現する。しかしこうした助詞や副詞がなく、動詞単独で過去事象を表現している例は非常に多い。特に直接話法や間接話法の前後の動詞「…と言った」や「…と尋ねた」、「…と答えた」は全て動詞単独で表現されている。例えば第一章『大丈夫です。ありがとう』と僕は言った。（“不要紧的，谢谢。”我说。）、「やがてドイツ人のスチュワーデスがやってきて、気分が悪いのかと英語で訊いた。（很快，一位德国空中小姐走来，用英语问我是不是不大舒服。）、『もちろん』と僕は答えた。（“那还用说。”我回答。）の“我说”、“问我”、“我回答”のように動詞が単独で用いられている。劉月華らがその著書『現代中国語文法総覧』で、「直接話法または間接話法の前（または後）の動詞には“了1”を用いることができない」³と述べていることを証明している。

具体的な動作を表さない動詞も、動詞単独で過去事象を表現している。具体的な動作を表さない動詞には、「～は～である」という判断や認定を表す関係動詞の“是”、「知っている」、「感じる」のような知覚を表す“知道”や“觉得”、「好きだ」、「嫌だ」という感情を表す“喜欢”や“讨厌”、所有や存在を表す“有”、存在を表す“在”などがある。先ず“是”についてみると、表2の例「はじめて直子に会ったのは高校二年生の春だった。（第二章）」の「～は～だった」は、現在のことと同様に“…是…（～は～である）」の形で表現される（“第一次同直子见面，是高中二年级的春天。”）。「である」の過去「だった」を表すために“是”の後ろに“了”を置くことはできない⁴。「弟弟是大学生了。」のように文末に“了”を置く文があるが、これは「弟は大学生だった。」という意味ではなく、「弟は大学生になった。」という変化を表す。次に存在と所

2 郭春貴（2008）『中国語検定対策3級・4級文法編』p. 12

3 劉月華・潘文娉・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 298

4 劉月華・潘文娉・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 569

有を表す“有”の例をあげると、「永沢さんには大学に入ったときからつきあっているちゃんとした恋人がいた。(第三章)」の「いた」は、中国語では“从一入学开始，永泽就有一个地地道道的女朋友。”と動詞“有”のみで表されている。第六章に“婚后两年有了孩子。(結婚して二年後に子供が生まれて)”という表現があるが、この“有了”は「無から有になった」という変化を表すものであり、「子供がいた」のではなく、子供が「いない」状態から「できた」という変化を表現する。「いる」、「ある」という存在を表す動詞“在”も同様に、過去の「いた」、「あった」を表現する場合は“在了”ではなく“在”と表現する。

心理状態や知覚を表す状態動詞も、過去の事象を動詞単独で表現する。例えば第一章「もちろん直子は知っていたのだ。(直子当然知道,)」、第二章「僕はとても悪いことをしてしまったような気がした。(我觉得自己好像做了件十分对不起人的事。)」の“知道(知っていた)”、“觉得(気がした)”など知覚を表す動詞や、第三章「冬が深まるにつれて彼女の目は前にも増して透明に感じられるようになった(随着冬日的延伸，我感到直子的眼睛比以前更加透明了。)」の“感到(感じられるようになった)”も動詞単独で過去の事象を表現している。また第三章「僕自身は知らない女の子と寝るのはそれほど好きではなかった。(我自己其实不大喜欢同萍水相逢的女孩同窗共衾。)」の“不大喜欢(それほど好きではなかった)”、第二章「それに父親が山登りが好きだったせいで、小さい頃から日曜日になると山登りをしてたの。(而且，由于父亲喜爱登山，我从小每到星期天就往山上爬。)」の“喜爱(好きだった)”など感情を表す動詞も単独で過去事象を表現する。

まとめると、①直接話法や間接話法の前後の動詞、②知覚や感情を表す状態動詞、③判断や存在を表す関係動詞は、動詞の後ろに完了を表す助詞“了”を置かず、動詞単独で過去事象を表現する。

表2

《挪威の森林》において動詞単独で過去事象を表現する例

		日本語原文	中国語翻訳文
動作動詞	直接話法、間接話法 前後	「大丈夫です。ありがとう」と僕は言った。 第一章 やがてドイツ人のスチュワーデスがやってきて、気分が悪いのかと英語で訊いた。 第一章	“不要紧的，谢谢。”我说。 很快，一位德国空中小姐走来，用英语问着我是不是不大舒服。
	知覚	もちろん直子は知っていたのだ。 第一章 僕はとても悪いことをしてしまったような気がした。第二章	直子当然知道， 我觉得自己好像做了件十分对不起人的事。
状態動詞	心理	僕自身は知らない女の子と寝るのはそれほど好きではなかった。第三章 それに父親が山登りが好きだったせいで、小さい頃から日曜日になると山登りをしてたの。第二章	我自己其实不大喜欢同萍水相逢的女孩同窗共衾。 而且，由于父亲喜爱登山，我从小每到星期天就往山上爬。
	“是”(判断)	国旗を掲揚するのは東棟(僕の入っている寮だ)の寮長の役目だった。第二章 はじめて直子に会ったのは高校二年生の春だった。第二章	升国旗是东楼(我所住的楼)楼长的任务。 第一次同直子见面，是高中二年级的春天。
関係動詞	“有”(存在)	永沢さんには大学に入ったときからつきあっているちゃんとした恋人がいた。第三章 東京について寮に入り新しい生活を始めたとき、僕のやるべきことはひとつしかなかった。第二章	从一入学开始，永泽就有一个地地道道的女朋友。 到得东京，住进宿舍开始新生活时，我要做的仅有一件事，
	“在”(存在)	彼が上段で僕が下段だった。第二章 彼女が先に立ち、僕がその少し後ろを歩いた。第三章	结果他睡上床，我在下床。 她在前边，我离开一点跟在后头。

2-2 動詞の後ろに補語を置いて過去事象を表現

“了”を使わないで過去事象を表現しているものの中で、動詞単独に次いで、動詞の後ろに補語を置いて過去を表現しているものが多かった。

動詞の後ろに結果補語または方向補語がある場合、“了”は省くことができる⁵。また様態補語はすべて動作や状態の結果または程度を表すもので⁶、ある動作がどのような様態でなされたか、または、どのような状態に達しているかについて補足説明するときに用いる⁷、すなわち様態補語で表現される事自体にすでに終わっている意味が含まれていることがあるために、“了”を使わなくても過去事象の説明ができる⁸。第三章には「坂を上り、川を渡り、線路を越え、どこまでも歩きつづけた（上坡，过河，穿铁道口，只管走个没完）。」のような“个”に導かれる様態補語もみられた。この文は補語が否定形式なので「止まらない」意味を表し⁹、「歩きつづけた」ことを表現している。可能補語は「できる」「できない」を表現するものである。例えば「找不到」は「（捜しても）見つからない」という意味を表すが、後ろに“了”を置いて“找不到了”にすると、「それは見つけれなかった」ではなく「見つからなくなった」という変化を表す¹⁰。表3の例は“触不到”という可能補語の否定形を用いて「触れなかった」を表現している。「触れなかった」を中国語に訳せば“没触到”となるが、この文の情景では、「手を伸ばして光の粒子をつかもうとしたのに（どうしても）それに触る事ができなかった」ことを表現したいために、可能補語の否定形が使われていると考えられる。

表3

《挪威的森林》において動詞の後ろに補語を置いて過去事象を表現する例

動詞＋補語	日本語原文	中国語翻訳文
動詞＋結果補語	直子はポケットから左手を出して僕の手を 握 った。第一章 電灯がうぶ毛をきれいな黄金色に 染めた 。第三章	直子从衣袋里抽出左手 握住 我的手。 电灯光把她细细的汗毛 染成 美丽的金黄色。
動詞＋方向補語	僕はときどき空中に漂う光の粒子に向けて 手を伸ばしてみた が、その指先には何も触れなかった。第三章 彼女はそのまま何も言わずに先に立って 歩きはじめた 。第一章	我时不时向空中漂浮的光粒子 伸出手去 ，但指尖什么也触不到。 她便没再开口，开始在我前边 走起来 。
動詞＋様態補語	「申しわけないけれど僕の方は かなり くたく ただよ 」第二章 いつもキズキが一座の中心にいたし、彼は そういうのが上手 かった。第二章 坂を上り、川を渡り、線路を越え、どこまでも 歩きつづけた 。第三章	“这么说你别见怪，我可是 累得够呛 。” 木月总是节目的中心，而他又 干得的确得心应手 。 上坡，过河，穿铁道口，只管 走个没完 。
動詞＋可能補語	僕はときどき空中に漂う光の粒子に向けて 手を伸ばしてみた が、その指先には何も 触れなかった 。第三章 「すごく。だから 我慢できなかった んです」 第十一章	我时不时向空中漂浮的光粒子伸出手去，但指尖什么也 触不到 。 “好极了，所以才 忍不住 。”

5 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 291

6 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 495

7 瀬戸口律子（2006）『完全マスター中国語の文法』p. 146

8 例えば“今天我们玩儿得很高兴（今日は楽しく遊んだ）。”郭春貴（2014）『誤用から学ぶ中国語』p. 129

9 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 504

10 韓志剛・張文賢（2004）『HSK 语法指要与训练』p. 127

2-3 助詞“了”を用いないで過去事象を表現（動詞単独、動詞＋補語を除く）

続いて助詞“了”を用いず、動詞単独と動詞の後ろに補語を置いて過去事象を表現する以外の例として、表4に示すような形式がみられた。

表4

《挪威の森林》にみる過去の表現（助詞“了”、動詞単独、動詞＋補語を除く）

中国語表現形式	日本語原文	中国語翻訳文
“一”＋動詞	飛行機が着地を完了すると禁煙のサインが消え、天井のスピーカーから小さな音でBGMが流れはじめた。第一章 直子は立ちどまってにっこりと笑い、僕の腕をそっとつかんだ。第一章	飞机一着陆，禁烟显示牌倏然消失，天花板扩音器中低声流出背景音乐， 直子停下， 动情地一笑 ，轻轻抓住我的胳膊，
“是…的”構文	我々は何かの目的があってここに来たわけではなかった。第二章 そのときの僕はそれを言葉としてではなく、ひとつの空気のかたまりとして身のうちに感じたのだ。第二章	我们也不是有什么目的才来这里的。 但当时的我并不是将其作为语言，而是作为一团薄雾样的东西来用整个身心感受的。
動詞＋助詞“着”	そんな一對の美しい瞳が長いあいだ僕の中をのぞきこんでいた。第一章 と言いかけて直子は口をつぐみ、そのまま歩きつづけた。第一章	这对如此美丽动人的眸子久久地、定定地 注视着我 。 说到这里，直子蓦地合拢嘴唇， 继续往前走 着。
動詞＋助詞“过”	ちょうど僕がかつての僕自身が立っていた場所から確実に遠ざかりつつあるように。第一章 私が存在し、こうしてあなたのとりにいたことをずっと覚えていてくれる？」第一章	正如我逐渐远离自己一度 站过的位置 一样。 记住我这样 活过 、 这样在你身边呆过 。可能一直记住？”
“来着”	彼女はそのとき何の話をしていたんだっけ？第一章	她那时究竟 说什么来着 ？

先ず動詞の前に副詞“一”を置く「“一”＋動詞」は、ある短い動作から何らかの結果や結論が得られることを表す¹¹。例えば「他一听，果然不高兴了。（彼はそれを聞くと案の定不機嫌になった。）¹²」のように使われる。この例からもわかるように、この文型は“一”の後ろの動作が完了したうえで次の動作がおこることを表しているの、動詞の後ろに“了”を置く必要はない。

また中国語は、“是…的”構文を用いてすでに起ったことを表現するが、“是…的”構文は、ただ単に過去の事象を描写するのではなく、あることが起ったという事実があり、それがいつ、どこで、どんなふうに起ったか、すなわち状況語を尋ねたり説明する時に用い、“是…的”構文では“了”を用いることはできない。

中国語には動詞の後ろに置く動態助詞が三つあり、完了を表す“了”以外に、動作の持続を表す“着”と過去の経験を表す“过”がある。“着”は時制の制限を受けないために、命令文のような未来のことにも、現在の状態の持続にも、過去の状態の持続にも用いられる。このため、表4の例1「僕の中をのぞきこんでいた（注视着我）」、例2「歩きつづけた（往前走着）」のような動作が続いていたことを表すには「動詞＋“着”」が使われる。さらに“着”の後ろには他のアスペクト助詞を置くことができないため¹³、“着了”の形はとれない。動詞の後ろの“过”は「かつてあることをしたことがある」ことを表し、過去についてしか用いられない¹⁴。このため「動詞＋“过”」の形は必ず過去のことであり、今はもうそうではないことを表す。表4の

11 『中国語文法用例辞典』東方書店（2003）

12 『中日辞典』講談社（2002）

13 劉月華・潘文娉・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 320

14 劉月華・潘文娉・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 320

例1「かつて僕自身が立っていた場所」は“自己一度站过的位置”と訳されているが、“了”が使われていないのは、「かつて立っていたことがある場所」という経験を表しているからである。例2の「私が存在し、こうしてあなたのとなりにいたこと」は“我这样活过、这样在你身边呆过”と“过”を用いて訳されているが、これも「かつて存在していた」、「かつてとなりにいた」という経験を表しているので、完了の“了”ではなく“过”を用いて訳している。“来着”は文末に置いて過去に起きたことを回想する気持を表す助詞であるが、口語にしかみられない¹⁵。

3 《挪威的森林》にみる過去の表現“了”を使うもの

ここでは、助詞“了”を用いて過去を表現しているものを詳しくみていく。分析の結果、大きく分けて表5に示す五つのパターンがあることがわかった。

表5

《挪威的森林》にみる過去の表現“了”を使うもの

	日本語原文	中国語翻訳文
① 動詞+“了” (目的語なし)	「どうしてこんなところに来たの？」第二 章 三日間、僕は我慢した。第二章	“怎么到这儿来了？” 头三天，我都忍了。
② 動詞+“了”+単 独の目的語	緑は行くところがあるからと言って四ツ谷 駅から電車に乗った。第四章 僕と直子は四ツ谷駅で降りて、線路わきの 土手を市ヶ谷の方に向けて歩いていた。第 二章	绿子说她有个地方要去，从四谷站上了电 车。 我和直子在四谷站下了电车，沿铁路边上的 土堰往市谷方面走去。
③ 動詞+“了”+数 量/修飾語(+目 的語)	彼女は「ディア・ハート」のメロディーを もう一度何小節か軽く弾いてからワインを すすった。第十一章 ただなんとなくそれ以来玉撞きをする機会 がなかったんです。それだけのことですよ。」 第八章	她又轻轻弹了几小节《宝贝儿》的旋律，呷 了口葡萄酒。 “只是不知为什么，从那以后就失去了打桌 球的机会——就这么回事。”
④ 動詞+目的語+ “了”	それでも僕らはしばらく四人で親しく話を していたのだが、待ちあわせの相手が来る と二人はそちらへ行ってしまった。第四章	但我们四人还是亲热地聊了一会，约会的男 朋友一来，两个女孩便去那边了。
⑤ 動詞以外+“了”	その他にはどんな物音もなかった。第一章 俺の人生っていったい何だったんだ？この 女のおもりをするだけのことなのかって。 第一章	此外便万籁俱寂了。 你会想：这辈子到底是怎么了，只落得给这 女人当护身符不成？

3-1 動詞の後ろに目的語があるもの

動詞の後ろに目的語がなければ、「動詞+“了”」で動作が完了したことを表現できるが、動詞に目的語がある場合は、いくつかある程度規則的なパターンがある。「はじめに」で述べたように、目的語の前に数量表現や修飾語がある場合には「動詞+“了”+数量表現または修飾語+目的語」、目的語の前に数量表現も修飾語もない場合は「動詞+目的語+“了”」になる。

3-1-1 「動詞+“了”+数量表現+目的語」

目的語の前にある数量表現を、その性質別に整理したものを表6に示す。

15 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 322

表6

目的語の前に数量表現がある例

	日本語原文	中国語翻訳文
① 動詞＋“了”＋数量詞＋目的語	花屋が一軒店を開けていたので、僕はそこで水仙の花を何本か買った。第四章	花店倒有一家开了门，我买了几枝水仙花。
② 動詞＋“了”＋動量詞＋目的語	「そうかもしれないな」と彼は言って二、“或许。”他轻轻点了两三下头，三度小さく肯いた。第九章	
③ 動詞＋“了”＋時間量＋目的語	緑はしばらくまっすぐ立ちのぼる煙草の煙を眺めていた。第七章	绿子望了半天烟头上笔直升起的烟。

《挪威的森林》では、目的語の前に数量表現がある過去事象は、全て動詞の後ろに“了”を置いて表現されている。

3-1-2 「動詞＋“了”＋修飾語（数量以外）＋名詞の目的語」

次に、《挪威的森林》にみられる数量を含まない修飾語がある目的語の例をみていく。

表7

「動詞＋“了”＋修飾語（数量以外）＋名詞の目的語」

	日本語原文	中国語翻訳文
① 動詞＋“了”＋指示代詞＋目的語	そういう映画をどこかで見たんじゃないかしら。第四章 「君に会ったおかげで少しこの世界に馴染んだような気がするな」と僕は言った。第七章	说不定她在哪里看了这类电影。
② 動詞＋“了”＋疑問代詞＋目的語	だから僕には何がどうなっているのかさっぱりわからなかった。第九章	根本搞不清发生了什么事。
③ 動詞＋“了”＋人称代詞＋“的”＋目的語	伊東は泊っていけよと言ったが、僕はちょっと用事があるからと言って断り、ウィスキーの札を言って九時前に彼のアパートを出た。第十章	伊东叫我住下，我说还有点事，谢过他招待的威士忌，九点前离开了他的住所。
④ 動詞＋“了”＋名詞＋“的”＋目的語	僕はそのとき本当に眠りの中枢に達していたのだ。第九章	当时确实达到了睡眠状态的极限，
⑤ 動詞＋“了”＋形容詞＋（“的”）＋目的語	名前を呼ばれても僕が黙っていると、教室の中に居心地のわるい空気が流れた。第四章	当点名我也不应时，教室里便出现了尴尬的气氛。
動詞＋“了”＋形容詞フレーズ＋目的語	いろんなところに行って、いろんな話をした。第六章	去了很多地方，说了很多话。
⑥ 動詞＋“了”＋動詞フレーズ＋“的”＋目的語	彼女の声を聞いて、僕は自分が何か間違ったことを口にしたらしいと思った。第一章 僕は札を言って、男からもらった五千円冊で東京までの切符を買った。第十一章	听她这么说，我察觉自己大概说了不该说的话。 用渔夫送给的五千钞票买了去东京的车票。
⑦ 動詞＋“了”＋主述フレーズ＋“的”＋目的語	そして僕は緑に、彼女のいないあいだに起った出来事をひとつひとつ報告した。第七章 そして五十一曲目にいつものバッハのフーガを弾いた。第十一章	我向绿子一五一十汇报了她不在时发生的事： 玲子第五十一首弹了她经常弹的巴赫赋格曲。
⑧ 動詞＋“了”＋前置詞フレーズ＋“的”＋目的語	私は私に対するあなたの好意を感じるし、それを嬉しく思うし、その気持を正直にあなたに伝えているだけです。第五章	我感受出了你对我的好意，并为此感到高兴——只是想把这种心情如实地告诉你。

⑨ 動詞 + “了” + 固 定フレーズ (成語) + “的” + 目的語	台所の日だまりの中でTシャツ一枚にな ってドイツ語の文法表を方端から暗記して いると、何だかふと不思議な気持ちになった。 第六章	我拣了一块暖洋洋的向阳处，这时我不由产 生了不可思议的感觉：
---	---	-----------------------------------

表7より、動詞の後ろに名詞の目的語があり、その目的語に修飾語がある場合、修飾語には様々なタイプがある事がわかる。ほぼ全ての定語¹⁶ (指示代詞、疑問代詞、人称代詞、名詞、形容詞 (フレーズ)、動詞 (フレーズ)、主述フレーズ、前置詞フレーズ) について、「動詞 + “了” + 修飾語 + 目的語」が成立している。

3-1-3 「動詞 + “了” + 動詞フレーズまたは主述フレーズの目的語」

思考や発言、知覚を表す動詞は主述フレーズを目的語にとる事が出来るが¹⁷、目的語が動詞や動詞フレーズ、主述フレーズなどの述詞性のことばである場合、述語動詞の後にはふつう“了1”を用いることはできない¹⁸。表8の①“认为 (～と考える)”や②“以为 (～と考える)”の例をみても“认为了”、“以为了”となっていないことがわかる。ただし、“忘 (～を忘れる)”については、肯定文では名詞、節を客語にとまうとき、必ず“了”を“忘”の後ろに付けて¹⁹“忘了”の形をとる (表8③)。また述語が“进行”、“作”などの動詞であれば、その目的語が述詞性のものであっても、後に“了1”を用いることができる²⁰ (表8④)。表8の⑤については、目的語が“种菜”、“做意大利面条”と動詞フレーズであるが、動詞の後に“上”と“会”という結果補語があり、さらに目的語は日本語で「野菜作り」、「おいしいスパゲティの作り方」と名詞句になっており、中国語でも名詞同様の働きをしていると思われる。また表8の⑥動詞“谈” (発言) と⑦動詞“目睹” (知覚) も、後ろに助詞“了”を置いて主述フレーズの目的語をとっている²¹。

表8

目的語が主述フレーズ、動詞フレーズの場合²²

① “认为” + 動詞フ レーズ	今まで殆んど誰にも話したことはないのだけ けれど、あなたには話しておいた方がいい と思うから話すのだと彼女は言った。第六 章	她说，这话还几乎没向任何人讲过，但 认为 还是向我讲了 为好。
① “以为” + 主述フ レーズ	寝ちゃったのかしらと思ってね。第六章	本来我 以为 她睡着了呢，
② “忘” + “了” + 主述フレーズ	あのレストランに電話しようかと思ったん だけど店の名前も覚えていないし、あなた の家の電話だって知らないし。第四章	本想给饭店打个电话，但 忘了 那店叫什么 名，又不晓得你家的电话，。
③ “进行” + “了” + 動詞フレーズ	彼の家は四国の田舎の旧家でね、両親が 私 のことを徹底的に調べて 、入院歴が二回あ ることがわかったのよ。第六章	他家是四国乡下有些来历的家族，父母对我 进行了彻底调查 ，知道我住过两次院，
④ 動詞 + 結果補語 + “了” + 動詞フレ ーズ	私も野菜作りは大好きになりました。第5 章 今イタリア料理店でアルバイトをしていて、 眼下我在一家意大利餐馆打工，从厨师那里 コックからおいしいスパゲティの作り方 を習った。第十章	我也 爱上了种菜 ， 学会了做意大利面条 ，

16 定語は連体修飾語のこと。

17 守屋宏則 (1997) 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』 p. 21

18 劉月華・潘文娉・胡韡 (1996) 『現代中国語文法総覧』 (相原茂監訳) p. 299

19 『中国語文法用例辞典』 東方書店 (2003)

20 劉月華・潘文娉・胡韡 (1996) 『現代中国語文法総覧』 (相原茂監訳) p. 299 の例

21 他にも“他目睹了爷爷头发变白。”などの例がある。微文语录 <https://www.wwyulu.com/read/11205.html>

22 主述フレーズを目的語に従える動詞については、守屋宏則 (1997) 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』 p. 21 に従った。

⑤ “談” + “了” + 主述フレーズ	そして私と二人でどこに住もうだの、どんなことしようだのといったようなことを話したの。第十一章	接下去谈了我俩住在哪里、做什么工作等等。
⑦ “目睹” + “了” + 主述フレーズ	僕は永沢さんが酔払ってある女の子に対しておそろしく意地わるくあたるのを目にして以来、この男にだけは何かあっても心を許すまいと決心したのだ。第三章	自我目睹了永泽酩酊大醉后想方设法捉弄女孩子以后，我就决意万万不可向他交心。

3-1-4 「動詞 + “了” + (修飾語なし) 目的語」

これまでは助詞“了”を用いた過去事象の表現のうち、“了”の後ろに数量表現や修飾語がある目的語をもつ例をみてきた。次に、目的語の前に数量表現も修飾語もない例をみていく。「動詞 + “了” + 目的語単独」の場合、ふつう文が終わらないで、「～したら、～」、「～してから～」のように文が続く。劉月華らも、「“了1”を含み、さらに目的語を含む文では、ふつう目的語には定語が必要とされる」が、目的語の前に定語がなくてもかまわない場合として「二つ（またはそれ以上）の、緊密につながっている動詞フレーズ・分句または対句中に目的語が現れる場合」を挙げている²³。

《挪威的森林》にみられる目的語が単独で、さらに文が続く例の一部を表9に示す。こうした例は非常に多くみられた。

表9

「動詞 + “了” + 目的語、～」

日本語原文	中国語翻訳文
僕と直子は四ツ谷駅で降りて、線路わきの土手を市ヶ谷の方に向けて歩いていった。第二章	我和直子在四谷站下了电车，沿铁路边上的土堰往市谷方向走去。
僕は新宿で簡単な昼食を食べ、それから電話ボックスに入って小林緑に電話をかけてみた。第四章	我在新宿简单吃了早餐，进电话亭给小林绿子打电话。
僕は切符売り場で切符を買い、それから近くの書店に入って地図を買い、待合室のベンチに座って「阿美寮」の正確な位置を調べてみた。第六章	我在售票处买了车票，然后走入近处一家书店，买张地图，坐在候车亭的凳子上查找“阿美寮”的准确位置。
十年も毎日毎日やってるからさ、やり始めると、む、無意識に全部やっちゃうんだ。第二章	我是十年如一日做过来的。一旦开了头，就、就下意识地一做到底。

3-1-5 「動詞 + “了” + (修飾語なし) 目的語。」(文が終る) 次に、単独の目的語で文が終る例をみていく。これは「はじめに」で述べた三パターンにはあてはまらないので、初級学習者には教えないことが多いが、実際こうした例は非常にたくさんあった。《挪威的森林》でみられた「動詞 + “了” + 単独の目的語」で文が終っている例を、述語や目的語の性質に基づいて分類したものの例を表10に示す。

表10

「動詞 + “了” + 目的語」

目的語	日本語原文	中国語翻訳文
① 動詞 + 結果補語 + “了” + 場所 / 時間	そして穴の中には暗黒が一世の中のあらゆる種類の暗黒を煮つめたような暗黒が一つまっている。第一章 私たちは支払うべきときに代価を支払わなかったから、そのつけが今まわってきてるのよ。第六章	井筒非常之黒，黒得如同把世间所有种类的黒—古脑儿煮在了里边。 我们在应该支付代价的时候没有支付，那笔账便转到了今天。

23 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 293

② 動詞＋“了”＋動詞	それは一瞬胸がつまってしまうくらいあたたくて素敵な仕草だった。第一章 そんな手紙を読みかえしてみると、僕自身が慰められた。第十章	一瞬间，我觉得一股暖流穿过全身，心脏都好像停止了跳动。 写罢反复阅读之间，我本身竟也得到了慰藉，
③ 動詞“成”＋“了”＋名詞	そして我々は友だちになった。第三章 もう病気みたいなものよね、これ。第四章	我们果真成了朋友。 简直成了病态。
④ 離合詞	降りましようよと直子が言って、我々は電車を降りた。第二章 病院に入って少ししてから小指は動くようになったから、音大に復学してなんとか卒業することはできたわよ。第六章	直子说声下车吧，我们就下了车。 住院不久，小手指可以动了，便去音乐大学复学，总算毕了业。
⑤ 動詞＋“了”＋疑問詞（不定を表す）	何を言っているのか聞きとれないということもあった。第二章 そしてどんなだったかあとで教えてほしいの。第七章	也有时听不清楚她说了什么。 事后把结果告诉我，例如都做了哪些。”
⑥ 動詞＋“了”＋固有名詞	そのようにして僕と直子は出会ったのだ。第二章 それから彼女は「ノーホエア・マン」を弾き、「ジュリア」を弾いた。第六章 まあそれで東京に戻ってきて二、三日ぶらぶらして、それから今度は一人で気楽に旅行しようと思って青森に行ったの。第九章	就这样我遇到了直子。 接着，她弹了《没有归宿的人》，弹了《朱莉娅》。 返回东京后，游逛了两三天，这回想一个人无拘无束地旅行一趟，就去了青森。
⑦ 動詞＋“了”＋人称代詞	それで私、彼のことがすごく好きになったの。第六章 レズビアンのようなことをしかけられたんだ、それで打ったんだって。第六章	这一来，我不折不扣地喜欢上了他。 说那女孩动手动脚要搞什么同性恋那样的鬼名堂，所以才打了她。
⑧ 動詞＋“了”＋数量詞	そのようにして僕は十八から十九になった。第三章	这么着，我从十八岁进入了十九岁。
⑨ 動詞＋“了”＋複合方向補語	十五分ほど経ったところで教室のドアが開いて緑が入ってきた。第四章 レイコさんが台所からまねき猫の形をした貯金箱を持ってきて、直子が財布から百円玉を出してそこに入れた。第六章	大约过了十五分钟，教室的门开了，绿子闪了进来。 玲子从厨房拿出一个招手猫形的贮币盒，直子从钱包里找出一枚百元硬币，投了进去。
⑩ 動詞＋“了”＋一般名詞	約束どおり僕がゲーム代を払った。第二章 永沢さんは食事に行くところだったので、僕も一緒に食堂に行って夕食を食べた。第四章	我按事先讲好的付了费用。 永泽正要去食堂吃饭，我也一起跟去吃了晚饭。

表10の④離合詞の場合、動詞部分の後ろに“了1”が置かれる事が多い。劉らは「動詞と目的語が比較的固定した組み合わせの動目フレーズであり、ふつう動詞の前にさらに時間に関わる状語があれば目的語の前に定語がなくてもかまわない」と述べている²⁴。さらに、目的語が固有名詞の場合（表10の⑥）も目的語の前に定語がなくてもかまわないとある。²⁵

3-2 文末（または節の終り）の“了2”

「はじめに」で述べたように、動詞の目的語に数量表現や修飾語がない場合、動詞の後ろではなく、ふつ

24 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 293

25 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 294

うは文末に“了2”を置くことにより文が終結する²⁶。《挪威の森林》でみられた文末や節の終りに置かれた“了2”の例を表11に示す。

表11

「動詞＋（目的語＋）“了2”。」

目的語	日本語原文	中国語翻訳文
① 動詞＋“了”目的語なし	僕が質問すると、彼はああほんとうだよ、我一问，他就痛快承认了，それ、と言った。第三章	
② 動詞＋結果補語＋場所＋“了”	そうするとこのへんの人は言うの、あれは野井戸に落っこちたんだって」第一章	于是这一带的人就说：准保掉进那荒草地的井里了。”
③ 動詞＋結果補語“成”＋目的語＋“了”	「大人になったからだよ」第十章	放下伞不淋成落汤鸡了？”
動詞“成”＋目的語＋“了”	傘ささないとずぶ濡れになっちゃうよ」第十章	“成大人了嘛。”
④ 離合詞＋“了”	「病院を出てしばらくしてから主人と知りあって結婚したの。第六章 「そうそう、このあいだ試験の発表あったよ。受かったよ」と永沢さんが言った。第八章	出院后不久和丈夫结婚了。 “对了对了，上次那场考试发榜了，中了。”永泽说。
⑤ 疑問詞＋“了”	俺の人生っていったい何だったんだ？ 第一章 「それでそのクラブはどうしたの？」第七章	你会想：这辈子到底是怎么了， “那民歌小组怎么办了？”
⑥ 動詞＋固有名詞＋“了”	「スペイン語始めたんですか？」第八章 「いいよ。それで奈良に行ったんだ」第九章	开始学西班牙语了？” “没关系。所以就去奈良了？”
⑦ 動詞＋人称代詞＋“了”	「ねえ、このあいだの日曜日あなた私にキスしたでしょう」と緑は言った。第七章 「病院よ。お父さんが入院していて、今日いちにち私がつきそってなくちゃいけないの。私の番なの」第七章	“噢，上次那个星期日你吻我了吧？”绿子说， “医院呗。我爸爸住院，今天该我陪伴一天，轮到我了。”
⑧ 数量詞＋“了”	寮に戻ったのは十一時半だった。第八章 俺はもう二十歳になったんだよ。第十章	回到宿舍，已经十一点半了。 我已经二十岁了！
⑨ 動詞＋複合方向補語＋“了”	しかし二日めの朝になると彼はむっくりと起きあがり、何事もなかったように体操を始めた。第三章 「どうしてそんなこと急に思い出したの？」第六章	但第二天清早，他居然“咕噜”一声翻身下床，若无其事地做起广播体操来了。 “怎么突然想起这个来了？”
⑩ 動詞＋一般名詞＋“了”	「退寮した」と寮長は言った。第四章 「あなたもだんだん世の中のしくみがわかってきたみたいじゃない」第六章	“退宿舍了。”主任说。 “你也慢慢开窍，懂得社会结构了嘛！”
⑪ 連動文	レイコさんも煙草をくわえたまま笑った。第六章 夕方近くになると直子はお母さんにもう帰っていいわよ、あとは大丈夫だからって言って、それでお母さんはタクシーを呼んでもらって帰っていったの。第十一章	玲子也叼着烟笑了： 傍晚时，直子对她母亲说往下不要紧了，请母亲回去。她母亲叫一辆出租车回去了。

26 沈国威監修 水野善寛・小嶋美由紀・海曉芳・紅粉芳恵・阿部慎太郎（2020）『中国語でコミュニケーション』教授用資料 pp.80-81 に「もし、目的語に数量詞や修飾語がない場合は、文末に更に“了”を加えると文が終結します（例：我昨天买了衣服了）。これは、文末の“了”には文を終結させる機能があるからです。」とある。また楊寄洲（2004）《汉语教程》第二冊上の第32課にも「如果宾语前没有数量词或其他宾语时，句末要有语气助词“了”才能成句。」と、同様の記述がある。

⑫ 固定フレーズ（成語）＋“了”	そして我々は別れた。第二章 「でもそれ以来、誰も俺に対して何も言えなくなったよ。第三章	随后我们就分道扬镳了。 “不过，从那以来，谁对我都无可挑剔了。
⑬ 動詞＋動量詞＋“了”	よく洗いこまれたものらしく、ずいぶん感じよく色が褪せていた。第二章 通して読むのは三度めだが読みかえせば読みかえすほど面白いと感じる部分がふえてくると僕は答えた。第三章	看上去洗过好多遍了，颜色褪得恰到好处。 我答已经通读三遍了，读的次数越是多，越觉得有趣的部分层出不穷。
⑭ 時間量＋“没”＋動詞＋“了”	直子と会ったのは殆んど一年ぶりだった。第二章 僕は山のぼりなんてしばらくしていないせいで息が切れた。第六章 「だって私、鍋ものなんて何年も何年も食べてないんだもの。第十一章	我差不多有一年没见到直子了。 倒是我因好久没跟山打交道了，不免气喘吁吁。 “我有好些年好些年没吃火锅了，
⑮ 動詞＋様態補語＋“了”	僕は歩きつかれていささかぐったりとしていたし、彼女はテーブルの上に両手を置いてまた何かを考え込んでいた。第二章 だから自然に足腰が丈夫になっちゃったの」第二章	我走得累了，有点打不起精神，她两手放在桌面上沉思什么。 所以，腿脚就自然而然变得结实了。”
⑯ 助動詞＋動詞＋“了”	担当医は私がそろそろ外部の人と接触を始める時期だと言います。第五章 わりに大事なコンクールがあつて、私ずうつとそのための練習してたんだけど、突然左の小指が動かなくなっちゃったの。第六章 またピアノ弾けるんだわって思ってたね。第六章	主治医生说我现在阶段已经可以慢慢开始同外界的人接触了。 有个比较重要的音乐会，我为此练习了很长时间。不料小指突然不会动了， 毕竟又能弹钢琴了。
⑰ 動詞＋可能補語＋“了”	その男が本当に医者なのかどうか僕はますますわからなくなりました。第六章 「すみません。我慢できなかったんです」 と僕は言った。第十一章	于是我愈发弄不清他是否真是医生了。 “对不起，我忍不住了。”我说。

表 11 のうち、⑧数量詞と⑯助動詞がある文、⑰可能補語の後ろの“了”については、動作が終ったことではなく、変化を表すと考えられる²⁷。また本稿 2-2 で、様態補語はある動作がどのような様態でなされたかを表すので、“了”がなくても過去の事象を説明できると述べたが、劉月華らは、様態補語が述詞性の場合、後ろに“了2”を置くことができるとし²⁸、特に動作が原因になって至った結果の状態を表す様態補語には“了”が使われることがある。⑪連動文では前の動詞の後ろに“了”は置けない²⁹。⑭「時量＋“没”＋動詞＋“了”」は、ある状況が発話までにどのくらいの時間持続したかを表す³⁰。すなわち発話までに、提示された期間その動作や状況が起らなかったことを表している。

27 韓志剛・張文賢（2004）《HSK 语法指要与训练》p. 127 に基づく。

28 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 309

29 韓志剛・張文賢（2004）《HSK 语法指要与训练》p. 124

30 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 304

3-3 “了1”を使うか“了2”を使うのか

表10と表11で示した“了1”を用いた表現と“了2”を用いた表現の数を比較したものを表12に示す。

表12

述語や目的語に基づいた《挪威的森林》にみられる“了”の表現例の数の比較³¹

表現形式	“了1”	表現形式	“了2”
		動詞+“了”(目的語なし) ³²	15
① 動詞+結果補語+“了”+場所/時間	6	動詞+結果補語+場所+“了”	11
② 動詞+“了”+動詞(句)	2		
③ 動詞+結果補語“成”+“了”+目的語	3	動詞+結果補語“成”+目的語+助詞“了”	3
動詞“成”+目的語+“了”“了”		動詞“成”+目的語+“了”“了”	
動詞+結果補語“成”+目的語+“了”		動詞+結果補語“成”+目的語+助詞“了”	2
動詞“成”+“了”+目的語	7	動詞“成”+目的語+“了”	2
“了1”+目的語		“了1”+目的語	
④ 離合詞 間に“了”を置く	11	離合詞 後ろに“了”を置く	13
⑤ 動詞+“了”+疑問詞	3	動詞+疑問詞+“了”	13
⑥ 動詞+“了”+固有名詞	13以上	動詞+固有名詞+“了”	3
⑦ 動詞+“了”+人称代詞	11	動詞+人称代詞+“了”	5
⑧ 動詞+“了”+数量詞	1	動詞+数量詞+“了”	8
⑨ 動詞+“了”+複合方向補語	11	動詞+複合方向補語+“了”	17
⑪		連動文	18
⑫		固定フレーズ(成語)+“了”	18
⑬		動詞+回数+“了”	3
⑭		時量+没+動詞+“了”	12
⑮		様態補語+“了”	18
⑯		助動詞+動詞+“了”	10
⑰		“该……了”	5
		可能補語+“了”	14

述語や目的語の性質が同じ場合でも、助詞“了”の位置は必ず一致するとは限らないことが、表12からわかる。

表12の動詞の後ろの“了1”と文末の“了2”について、①、③、④、⑨の例を比較してみる。

31 ⑩一般名詞については、数が多いため省略する。

32 文末に“了”が完了の意味を表していれば、それはふつう“了1+了2”である。劉月華・潘文娉・胡韞(1996)『現代中国語文法総覧』(相原茂監訳) p. 312。

表 13 ①

動詞＋結果補語＋“了 1”＋場所／時間	動詞＋結果補語＋場所／時間＋“了 2”
井筒非常之黑，黑得如同把世间所有种类的黑一古脑儿 煮在了里边 。	于是这一带的人就说：准保 掉进那荒草地的井里了 。”
唱到这里时，旗升到旗杆中间，“遍覆青苔”一音刚落，国旗便 爬到了顶尖 。	暑假结束，新学期一开始，直子便十分自然地，水到渠成地 走在我身旁了 。
其实他也没说什么绘声绘色的话，但他一开口，女孩大多听得入神，一副痴迷的样子，不知不觉间便喝得昏头昏脑，结果和他 睡到了一起 。	而是突然 消失到什么地方了 。
我们在应该支付代价的时候没有支付，那笔账便 转到了今天 。	少顷，我突然想起水仙花 忘在楼下了 。
我也因此陡然 冲到了顶峰 。	不知不觉就 沉浸在这岑寂之中了 。
但谁也没搭腔，如同小石子 掉进了无底洞 。	突然睁眼时，直子已经 站在那里了 。
	你怕是把直子 忘在脑后了吧 ？”
	月亮也被 掩到后面去了 。
	我想劝阻，但他头也不回地倏忽 隐没在黑暗中了 。
	喂，木月，你终于把直子 弄到手了 ！
	事情算是已经 落实到该落实的地方了 ？”

表 13 ①については、“把”構文では 1 例を除き、文末に“了”が置かれている。これは次の表 13 ③も同様である。

表 13 ③

動詞＋結果補語“成”／動詞“成”

動詞＋結果補語“成”＋“了 1”＋目的語	動詞＋結果補語“成”＋目的語＋“了 2”
这一年里，直子 瘦成了另一个人 。	你都 湿成这样了 。
全被 染成了深色 。	或许把我 错看成另外某个人了 ，
他给我 养成了卫生习惯 。	放下伞不 淋成落汤鸡了 ？”
動詞“成”＋“了 1”＋目的語	動詞“成”＋目的語＋“了 2”
我们果真 成了朋友 。	“ 成大人了嘛 。”
由于写这本书的人是关西人，我做的菜也就跟着 成了关西风味 。	我在亲戚中岂不 成块笑料了 ！”
而在我们这个小天地中，反常恰恰 成了前提条件 。	
简直 成了病态 。	
后来规模逐渐扩大， 成了法人 。	
但和昨晚不同， 成了毛毛雨 。	
我简直 成了活人自动唱机 。	
動詞“成”＋“了 1”＋修飾語＋目的語	
三人在一起，便俨然 成了电视中的专题采访节目 ：	
结果赶到直子房间时，蛋糕已经土崩瓦解，活脱脱 成了古罗马的圆形剧场 ，	
可如今却 成了精神病院的归来者 。	
直子来到后，我就没完没了地弹甲壳虫，活活 成了可怜的音乐奴隶 。”	
星期天就 成了洗东西熨东西的日子 。	
恐怕就 成了我的责任 ，	
结果 成了他得的最后一分 。	

③“成”は「(…に) なる」、「(…に) 変わる」という意味を表し、うしろには必ず名詞の目的語が必要である³³。例の数は少ないが、“把”構文や反語文では文末の“了”が用いられている。

33 『中国語文法用例辞典』東方書店（2003）

表 13 ④

離合詞

離合詞（動詞）＋“了”＋離合詞（目的語）	離合詞＋“了”
直子说声下车吧，我们就 下了车 。	就我本人来说，本打算租间公寓，一个人落得逍遥自在，但想到私立大学的入学费和学费以及每月的生活费，也
随后一个人掏腰包 付了账 。	就不好意思 开口了 。
就在绿子家附近发生了一场火灾，我们爬上三楼的晾衣台看热闹，而且不知不觉地 接了吻 。	说完，便和她 分手了 。
也不知为什么，我总是觉得似乎自己在茂密的森林中 迷了路 。	医院？莫非她受伤或 患病了 不成？
住院不久，小手指可以动了，便去音乐大学复学，总算 毕了业 。	出院后不久和丈夫 结婚了 。
可当时就好像 着了魔 似的。	我跑上二楼，敲姐姐房间的門，喊声 吃饭了 。
侍者把信用卡拿来，永泽确认一下款额，用圆珠笔 签了名 。	“说话了？”玲子问直子。
随即 付了账 。	她那嘴巴也实在灵巧，听着听着就 入迷了 。
大概这个那个弄得太紧张了，以致月经也 乱了套 。	“我们就 离婚了 ，
过一会儿，他问我 吃了饭 没有。	“怎样，这几天可又 失火了 ？”
结果见面一看，我马上一颗心 落了地 —	绿子说想爬树，不巧新宿没有可爬的树，御苑已经 关门了 。
	“对了对了，上次那场考试 发榜了 ，中了。”永泽说。
	发型变了嘛”，结果还是 落空了 。
	“喂喂，学校早已 开学了 。”

④離合詞の“了”の位置については、3-1-5 でみたように、「動詞と目的語が比較的固定した組み合わせの動目フレーズであり、ふつう動詞の前にさらに時間に関わる状語があれば目的語の前に定語がなくともかまわない」とあるが（脚注 23）、実際には前に時間に関する状語がなく離合詞の動詞部分の後ろに“了 1”が置かれる例が多かった。また韓志剛³⁴らも目的語が単独の場合、“了”の位置は文中でも文末でもよいとして、離合詞“回家”の例をあげ、“他回了家。”、“他回家了。”いずれも可としている。表 13 ④に示した《挪威的森林》中の両者も、特に際立った違いは見出だせなかった。

表 13 ⑨

複合方向補語

動詞＋“了”＋複合方向補語	動詞＋複合方向補語＋“了”
大约过了十五分钟，教室的门开了，绿子 闪了进来 。	若无其事地 做起广播体操来了 。
所以这些民房才得以原样 保留了下来 。	“怎么突然 想起这个来了 ？”
之后，我们就 睡了过去 。	“这里怎么 冒出黄瓜来了 ？”
玲子从厨房拿出一个招手猫形的贮币盒，直子从钱包里	“书店不想再 办下去了 ？”我试着问。
找出一枚百元硬币， 投了进去 。	但不管怎样，总算把毛衣按时 赶出来了 。
就这样，皱纹一条条 爬了上来 。”	行李都 寄过去了 。”
就反对这门婚事， 吵了起来 。	猫在玲子腿上伸伸要，换了姿势，又 睡过去了 。

劉らによると、“了 2”は派生的意味を表すいくつかの複合方向補語の前に置くことができ、“動詞＋‘了’＋複合方向補語”と“動詞＋複合方向補語＋‘了’”の意味は全く同じとある³⁵。ただし守屋は動詞の後ろに複合方向補語があり、さらに目的語がある場合、“了”は文末に置かれる³⁶と述べており、《挪威的森林》においても、目的語をもつ複合方向補語は、すべて文末に“了”が置かれていた。

4 おわりに

本稿では日本語の過去の表現が、中国語でどのように訳されるかについて『ノルウェイの森』の中国語翻

34 韓志剛・張文賢（2004）《HSK 語法指要与訓練》p. 128

35 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）p. 307

36 守屋宏則（1997）『やさしくくわしい中国語文法の基礎』p. 191

訳書《挪威的森林》を分析して検討した。その結果日本語の過去事象は、完了を表す助詞“了”を用いて表現するばかりではなく、動詞単独で過去を表現したり、様々な表現形式がある事がわかった。中国語には時制がないこと、そして日本語の過去事象を中国語で表現する時に完了を表す助詞“了”は必ずしも必要ではないことを改めて証明することができたと思う。しかし過去を表現する時に、“了”を動詞の後ろに置くか、文末に置くかに関しては、絶対的な法則を見出すことができなかった。これは“了”が動作の完了を強調するだけでなく、すでに起こった事実を確認したり、様々な語気を表すこともあるため、過去事象の表現に用いることもあれば、用いないこともあるからだと思われる。ひとつの考えとして、目的語が初めて話題にのぼった時は“了”は目的語の前、目的語がすでにわかっているものである場合は“了”は目的語の後ろに置くという記述がある³⁷。これは文末に置く“了”が確認の語気をもつ語気助詞の一種であるため、目的語がすでにわかっているものの場合は、文末の“了”を用いると考えられる³⁸。本稿の表13③で動詞“成”または結果補語“成”の後ろに置く“了”の位置について比較したが、“了”を動詞“成”の後ろにおいて“成了”の形をとるものが、文末に置く“了”より多いことがわかる。これは“成”には新しいものに「なる」、「変わる」という意味があるため、その目的語は当然「新しいもの」、「未知のもの」である可能性が高いために、助詞“了”は“成”の後ろ、目的語の前に置かれることが多いと考えられる。助詞“了”の習得は容易ではないが、より正しい中国語の運用のためには、避けて通れないものである。

＜参考文献＞

- 村上春樹（2004）『ノルウェイの森』（上）（下）株式会社講談社
 林少華訳（2005）《挪威的森林》上海訳文出版社
 相原茂・陳淑梅・飯田敦子（2019）『日中いぶこみ交差点』朝日出版社
 清原文代・井手克子・韓艶玲・高恵敏（2012）『一步一步学漢語』下 白帝社
 杉野元子・黄漢青（2013）『大学生のための初級中国語 40 回』白帝社
 沈国威監修 水野善寛・小嶋美由紀・海曉芳・紅粉芳恵・阿部慎太郎（2020）『中国語でコミュニケーション』教授用資料 朝日出版社
 郭春貴（2008）『中国語検定対策 3 級・4 級文法編』白帝社
 郭春貴（2014）『誤用から学ぶ中国語』白帝社
 韓志剛・張文賢（2004）《HSK 语法指要与训练》
 瀬戸口律子（2006）『完全マスター中国語の文法』語研
 孫徳金（2003）《汉语语法教程》北京語言大学出版社
 守屋宏則（1997）『やさしくくわしい 中国語文法の基礎』東方書店
 楊寄洲（2004）《汉语教程》第二册 上 北京語言大学出版社
 劉月華・潘文娛・胡韡（1996）『現代中国語文法総覧』（相原茂監訳）くろしお出版
 『中国語文法用例辞典』東方書店（2003）
 『中日辞典』講談社第二版（2002）
 微文语录 <https://www.wyyulu.com/read/11205.html>

37 韓志剛・張文賢（2004）《HSK 语法指要与训练》p. 128 以下は原文である。

根据什么决定“了”放在前边还是后边呢？（1）根据宾语的性质。如果宾语是第一次谈到，“了”应该在宾语前边：如果动词宾语表示的事情是已经想到、知道的事，“了”应该在宾语后边。

38 孫徳金（2003）《汉语语法教程》p. 254 に次のような記述がある。

b 句（他去上海了。）の“了”表达的是确认“他去上海”已成为事实。